

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	乳癌 Datopotamab Deruxtecan療法	臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2025年7月2日
疾患名	乳癌	<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他	1クール期間	21日
診療科名	乳腺・内分泌外科			実施回数	/回
登録医師名	高橋 寛敏				
適用	化学療法歴のあるホルモン受容体陽性かつHER2陰性の手術不能または再発乳癌				

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	レスタミンコーク錠10mg	5	錠	経口			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ダトロウェイ投与開始30分前までに内服 ※内服不可の場合は医師に確認
	アゼトアミノピフェン錠500mg	1	錠				●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	5%糖液	100	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
3	5%糖液	100	mL	点滴静注	メイン	30min	●										
	パロプセトロン静注用0.75mg	1	管														
4	5%糖液	100	mL	点滴静注	メイン	90min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1) 初回投与の忍容性があれば、2回目以降投与時間30minまで短縮可能。 2) インラインフィルターを使用すること。 3) ボトルを遮光して投与すること。 4) 生食との混合は行わないこと。 5) 調製後25℃以下で4時間または2~8℃で24時間以内に投与を完了すること。 6) ダトロウェイ1Vあたり5mLの注射用水で溶解する。注射用水量は医師、薬剤師で適量に修正すること。
	ダトロウェイ点滴静注用100mg	6	mg/kg														
5	注射用水	適量	mL														

備考欄
 アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤またはタキサン系抗悪性腫瘍剤による治療歴があること。
 副作用として重篤な間質性肺炎が発現することがあるので、投与開始前に必ず胸部CT検査、胸部X線検査、動脈血酸素飽和度 (SpO2)検査及び問診を行うこと。
 定期的に関質性肺炎のスクリーニングを行うこと。
 項目: 臨床症状(呼吸状態、咳および発熱の有無)、SPO2、胸部X線、胸部CT、血清マーカー(KL-6, SP-D)等を定期的に確認すること。
 副作用として角膜障害が起こることがあるため、本剤投与中は眼症状に注意すること。

文献
 国際共同第Ⅲ相試験 TROPION-Breast01試験

減量・中止基準

通常投与量	6 mg/kg
1段階減量	4 mg/kg
2段階減量	3 mg/kg
中止	3 mg/kgで忍容性が得られない場合

副作用
 Grade1: 所見が完全に回復するまで休薬する。休薬期間が28日以内の同一用量で28日超の場合は1段階減量して再開できる
 Grade2~4: 投与中止する

好中球減少、白血球減少、貧血
 Grade3: Grade2以下に回復するまで休薬し、回復後、同一用量で投与を再開する
 Grade4: Grade2以下に回復するまで休薬し、回復後、同一用量または1段階減量して投与を再開する

血小板減少
 Grade3: Grade1以下に回復するまで休薬し、回復後、同一用量または1段階減量して投与を再開する
 Grade4: Grade1以下に回復するまで休薬し、回復後、1段階減量して投与を再開する

角膜炎
 Grade2: Grade1以下に回復するまで休薬し、回復後、同一用量で投与を再開する。
 Grade3: Grade1以下に回復するまで休薬し、回復後、1段階減量で投与を再開する。
 Grade4: 投与を中止する。

口内炎
 Grade2: Grade1以下に回復するまで休薬し、回復後、同一用量で投与を再開する。再発の場合、Grade1以下に回復するまで休薬し、1段階減量して再開できる。
 Grade3: Grade1以下に回復するまで休薬し、同一用量または1段階減量で投与を再開する。
 Grade4: 投与を中止する。

参照: ダトロウェイ点滴静注用100mg 適性使用